

2024年4月2日掲載 山形新聞

人手不足対応へ 研修施設が完成

第一貨物、天童に整備

第一貨物（山形市、米田総一郎社長）は1日、天童市芳賀に整備していた同社中央研修所の完成内覧会を開いた。個室の宿泊施設を備えた中央研修棟に加え、現場と同様の設備で研修ができる実技訓練棟を設けた。新入社員をはじめとした社員研修体制を強化すること、人手不足問題への対応を図る狙い。

1973（昭和48）年建設の中央研修所の敷地内に、2棟を新築した。研修棟は男女別に分けた宿泊個

室71室などを設け、新入社員研修に加え、全国の拠点から社員が参加する研修に



車両からの荷物の積み降ろしなどの研修が実践的に行える実技訓練棟Ⅱ天童市・第一貨物中央研修所

対応する。訓練棟は、実際の物流センターを模して建設した。高床式のホームを設けた荷さばき場では、車両からの荷物の積み降ろしなどが実践できる。事務所部分にはパソコン20台を備え、各種事務作業を習得できる。

施設は3月中に完成し、この日は入社式が行われた。新入社員102人は大卒、高卒などに分かれ、同施設に宿泊して研修を受講する。仁科秀樹常務人事部長は「運送業務は人がいないと成り立たない。教育研修に力を入れていることを採用時のアピールポイントにしたい」と話した。

（阿久津誠）